

北陸未来共創フォーラム
新たな人材の探し方 ー人事のエコシステムを考えるー

「戦略的な地域インターンシップ」

～企業・学生にとって価値あるインターンシップの作り方～

2025年1月30日@金沢

伊藤 淳司(いとう じゅんじ) junji@etic.or.jp

NPO法人ETIC.(エティック) ローカルイノベーション事業部 事業部長

愛知県名古屋市生まれ、2歳～17歳までは広島市在住。早稲田大学教育学部卒。1997年からETIC.に参画し、日本初の長期実践型インターンシップ「アントレプレナー・インターンシップ・プログラム(EIP)」の事業立ち上げに携わる。コーディネーターとして、これまで1000社以上に対して外部人材を活用した新規事業立ち上げ・少数精鋭組織のコンサルティングに関わり、2004年から「若者×経営者×地域=挑戦が生まれる日本」を目指すチャレンジ・コミュニティ・プロジェクト(チャレコミ)の立ち上げに参画。現在も日本全国の多様な地域・セクターのコーディネーター育成を担当。その他、社会起業家予備軍の成長過程におけるプロセス評価分析、行政・地方自治体との起業支援事業、関係人口・外部人材活用事業、大学との実践型カリキュラム開発も担当。早稲田大学MBA取得。専門は『起業家型人材が有する思考・行動特性(コンピテンシー)に関する研究』。立教大学経営学部、横浜国立大学経営学部の非常勤・兼任講師。一般社団法人地域・人材共創機構理事 NPO法人Eyes理事、NPO法人いつきつなぎ監事も務める。



◆高等教育(非常勤/兼任講師)

- 立教大学経営学部「長期実践プログラム(実践型インターンシップ 4週間(4単位) or 4か月以上フルタイム(10単位))(継続中)
- 横浜国立大学経営学部「マーケティングプラクティス」(PBL型) / 「マイプロジェクトランチャー」(継続中)
- 早稲田大学MBAコース「NPOと社会起業家から学ぶリーダーシップ」(2010年～2015年)
- 早稲田大学Life Redesign College(LRC)講師「課題解決に向けた事業創造プラクティス～リアルな社会課題 / 地域課題に向き合う～」(継続中)
- 高知大学客員准教授(2014-2020)長期社会協働インターンシップ(CBI-Collaboration Based Internship-14単位)を2004年から協働開発。

◆専門家会議・委員等:

- 文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」中国四国地域(高知大学グループ・島根グループ)第三者評価機関・外部委員。中四国地域の大学におけるインターンシップの質と量の拡充のサポート(2013-15)
- 産業経済研究委託事業(経済産業省)「教育的効果の高いインターンシップの普及に関する調査」(2014) 上席研究員
<https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/intern/intern.html>
- 総務省「関係人口創出・拡大事業」モデル事業評価委員(2019-2020)
- 総務省「地域おこし協力隊ビジネスサポート事業」審査員・アドバイザー(2019-22)
- 内閣府まち・ひと・しごと創生本部「[地方創生インターンシップ推進研究会](#)」委員(2018-21)
- 内閣府「地方公共団体における多世代交流を通して活性化する コミュニティづくりの具体化に向けた支援に関する調査研究」委員(2021)

◆受賞等

- 日本インターンシップ学会 第3回榎本記念賞「最も秀逸なるインターンシップ」受賞(2019)
「地域企業の事業推進と学生の起業家的思考行動特性を育む “地域ベンチャー留学”の実践報告」

NPO法人ETIC.について **E**ntrepreneurial **T**raining for **I**nnovative **C**ommunities

変革の現場に挑む機会を通して、**アントレプレナーシップ(起業家精神)**溢れる人材を育みます。そして、**創造的で活力に溢れ、ともに支え合い、課題が自律的に解決されていく社会・地域を実現していきます。**

- 設立: 1993年(法人化: 2000年3月・認定NPO法人取得: 2017年)
- スタッフ: 124名(うち専従61名)※2024年5月31日現在 年間予算: 約8億円(※2024年5月31日現在)

事業内容:

1)ベンチャー・NPO・地域中小企業向け長期実践型インターンシップ事業および大学生の起業支援(1997年～)

2800名の大学生が参加。うち、154名が起業または創業メンバーとして参画。経営者の挑戦学生の当事者意識。現在はMAKERS UNIVERSITYを実施

2)ソーシャルイノベーション事業(2002年～)

400名以上の社会起業家を輩出。事業継続率は90%を超える。地域の創業支援事業や起業型協力隊事業も全国の自治体と連携。

3)ローカルイノベーション事業(チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト /2004年～)

全国70地域の地域コーディネート機関(=まちの人事部機能)と連携。大学生の実践型インターンや社会人右腕・兼業副業、関係人口等の事業で協働

4)震災復興支援事業(右腕派遣事業など /2011年～)

5)ソーシャルベンチャー・NPO求職サイト『DRIVE』(2013年～)

プログラム(一部抜粋)



30地域のコーディネート機関と運営。面白いプロジェクトが見つかる！日本全国インターンシップ検索サイト。



1か月間、地域に住み込みで経営者とプロジェクトに挑戦する地域ベンチャー留学。



地域企業の経営者と二人三脚で実施するプロジェクトに副業兼業で参画する人材のためのマッチングサイト。



各地で挑戦の生態系の創出を目指す70地域のコーディネート機関のコミュニティ。ノウハウ交換と協働プロジェクトの種を育む。



家業イノベーションラボ。二代目・三代目経営者らによる家業の成長支援を推進するプロジェクト。



地域で新たな仕事を生み出す起業家「ローカルベンチャー」創出を目指すプロジェクト

全国の地域コーディネート機関(中間支援)

©2025 ETIC. All rights reserved.

【北海道・東北】

北海道・札幌市 | NPO法人北海道エンブリッジ
北海道・下川町 | NPO法人森の生活/下川町産業活性化支援機構
北海道・厚真町 | 厚真町役場株式会社エーゼログループ
一般財団法人えぞ財団

北海道・清里町 | 清里町役場KITOSATO仕掛け人ラボ

青森県・青森市 | NPO法人プラットフォームあおもり

青森県・八戸市 | 株式会社バリュースト

青森県・弘前市 | 株式会社RANDO PLUS

岩手県・盛岡市・大船渡市 | NPO法人wiz

岩手県・宮古市 | NPO法人みやっこベース

岩手県・釜石市 | 釜石市役所株式会社パソナ東北創生

岩手県・洋野町 | 一般社団法人Moova

秋田県・秋田市 | 株式会社なんで・なんで

秋田県・羽後町 | NPO法人みらいの学校

山形県・鶴岡市 | 合同会社work life shift

宮城県・仙台市 | 一般社団法人ワカツク

宮城県・石巻市 | 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン/株式会社巻組

一般財団法人まちと人と

宮城県・気仙沼市 | 気仙沼市役所気仙沼まち大学運営協議会

合同会社気仙沼の人事部

宮城県・女川町 | NPO法人アスヘノキボウ

宮城県・南三陸町 | 株式会社ESCCA

福島県・県北相双地区 | 一般社団法人Bridge For Fukushima

福島県・葛尾村 | 一般社団法人葛力創造舎

福島県・いわき市 | 一般社団法人TATAKIAGE Japan

福島県・郡山市 | NPO法人コースター

【北信越】

新潟県・新潟市 | Inquiry合同会社(地域人事部アライアンスネットワーク)

新潟県・村上市 | NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター

新潟県・長岡市 | (公)中越防災安全推進機構

富山県・富山市 | 合同会社ハピオブ

富山県・黒部市 | 黒部市役所/移住・人つなぎ支援センター

石川県・七尾市 | 株式会社御蔵川

石川県・金沢市 | 株式会社ガクトラボ

福井県・福井市 | 株式会社akeru

長野県・長野市 | 長野市役所・合同会社キキ

長野県・小布施町 | 一般社団法人小布施まちイノベーションIBUB

長野県・塩尻市 | NPO法人meguru/塩尻商工会議所塩尻市役所

【関東】

茨城県・日立市 | 株式会社えぼつく・株式会社シンカゼ

茨城県・常陸大宮市 | まちむすび合同会社

茨城県・常陸太田市 | 一般社団法人いまほくらと

茨城県・大洗町 | 株式会社Coelacanth

茨城県・鹿行地域 | NPO法人鹿行地域おこしLab.

茨城県・稲敷市 | いなしきむすび合同会社

栃木県・宇都宮市 | NPO法人とちぎユースポーターズネットワーク

群馬県・桐生市 | 一般社団法人KiKi

東京都・渋谷区 | NPO法人ETIC.

東京都・豊島区 | 大正大学地域創生学部

千葉県・銚子市 | 銚子円卓会議

【東海】

静岡県・熱海市 | NPO法人atamista

静岡県・静岡市 | NPO法人ESUNE

静岡県・浜松市 | 一般社団法人OWN WAY

愛知県・名古屋市中 | NPO法人アスクネット・一般社団法人アスパシ

愛知県・岡崎市 | NPO法人コラボキャンパス三河

岐阜県・岐阜市 | NPO法人G-net

岐阜県・高山市 | NPO法人まちづくりスポット

三重県・四日市市 | 一般社団法人わくわくスイッチ

三重県・尾鷲市 | 一般社団法人つちからみのれ

三重県・熊野市 | 東紀州コミュニティデザイン

【近畿】

滋賀県・湖南市 | しがとせかい株式会社

滋賀県・彦根市 | 株式会社いろあわせ

京都府・京都市 | 株式会社ツナグム

京都府・与謝野町 | 株式会社ローカルフラッグ

大阪府・大阪市 | NPO法人JAE

兵庫県・豊岡市 | 但馬信用金庫

兵庫県・宍粟市 | 人財カフル活用プラットフォーム推進会議

(市役所・信金・商工会)・宍粟くらし移住支援舎

兵庫県・淡路市 | 淡路ラボ(株式会社次世代共創企画)

和歌山県・田辺市 | 株式会社TODAY

【中国・四国】

岡山県・岡山市 | NPOエリアイノベーション

岡山県・西粟倉村 | 西粟倉村役場株式会社エーゼログループ

鳥取県・鳥取市 | NPO法人bankup

島根県・雲南市 | 一般社団法人umi/雲南市役所NPO法人おつちラボ

島根県・海士町 | 株式会社社交(こもこも)

広島県・東広島市 | 行政書士なかしま事務所 中嶋直哉

山口県・周防大島町 | 株式会社ジブンノオト

徳島県・徳島市 | 徳島大学COC+推進コーディネーター)

徳島県・上勝町 | 上勝町役場合同会社バンゲア合同会社RDND

愛媛県・松山市 | NPO法人Eyes

愛媛県・久万高原町 | 久万高原町役場ゆりラボ

高知県・高知市 | 高知大学

高知県・四万十町 | 一般社団法人いなかパイプ

【九州・沖縄】

福岡県・飯塚市 | 株式会社ハウインターナショナル

福岡県・糸島市 | 合同会社ムーブメント

熊本県・熊本市 | 一般社団法人フミダス

熊本県・上天草市 | 上天草市役所

熊本県・南小国町 | 南小国町役場株式会社SMO南小国

熊本県・球磨郡五木村 | 株式会社日添

大分県・竹田市 | まちづくりたけた株式会社/竹田市役所

/一般社団法人竹田市移住定住支援センター

長崎県・東彼杵町 | 東彼杵町役場

宮崎県・宮崎市 | 宮崎大学 学び・学生支援機構 共創人材育成部門

Capa+[キャパタス]

宮崎県・日南市 | 日南市役所日南市ローカルベンチャー事務局

宮崎県・美郷町 | 美郷町役場

鹿児島県・鹿児島市 | 株式会社マチトピラ

鹿児島県・鹿児島市 | 一般社団法人デンラポ

鹿児島県・錦江町 | 錦江町役場株式会社エーゼログループ

鹿児島県・奄美大島龍郷町 | 一般社団法人E'more秋名

沖縄県・うるま市 | 一般社団法人プロモーションうるま

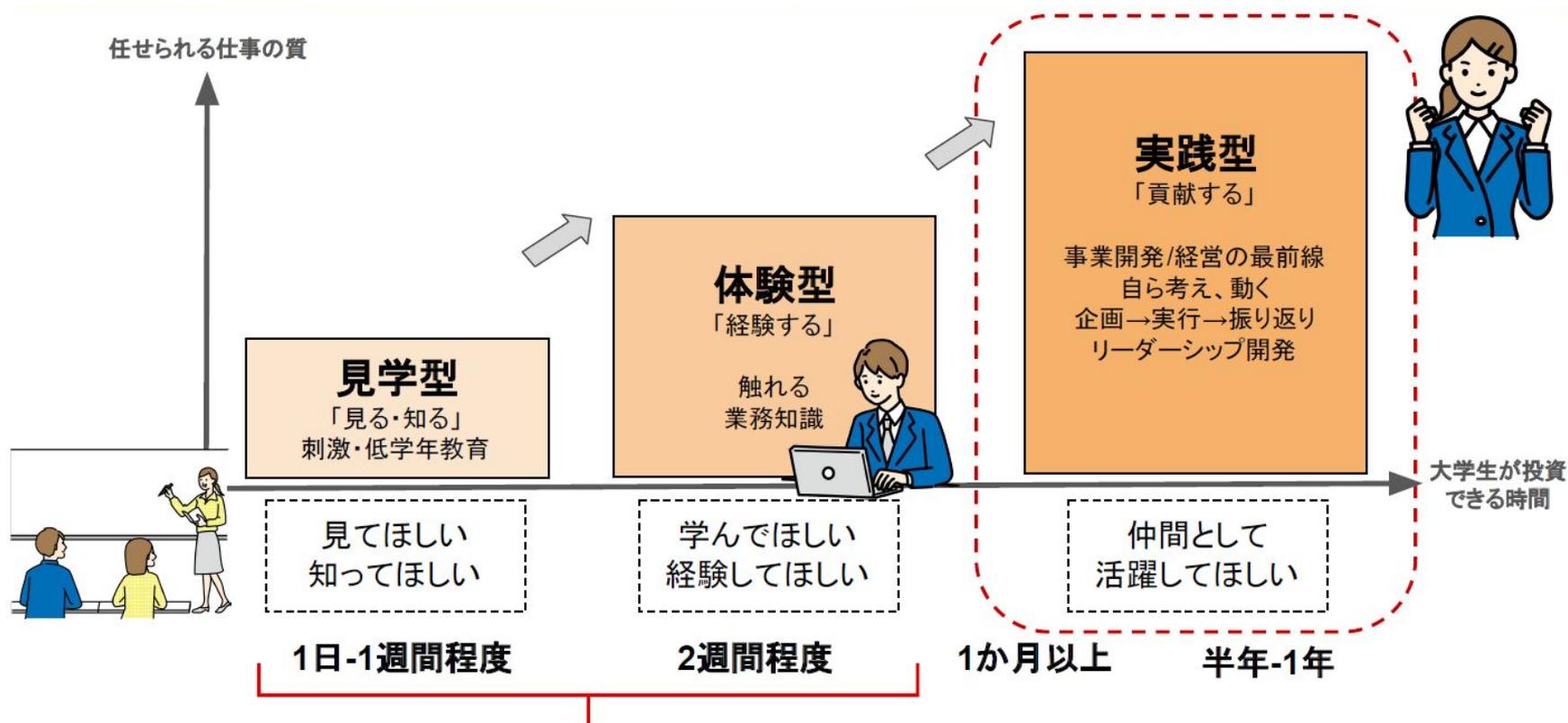
太字: チャレンジコミュニティプロジェクト会員(2024年12月現在)
細字: その他事業等での連携コーディネート機関
下線: ローカルベンチャー協議会参加自治体



産学協議会が定義した インターンシップ等の4類型

類型	代表的なケース	実施主体	実施規模	学生の参加期間	学生の主たる目的
タイプ1 オープン・カンパニー	企業・就職情報会社 主催イベント	企業または 就職情報会社	大人数	超短期(短日)	企業・業界・仕事を 具体的に知る
	学内イベント	大学キャリアセンター			
タイプ2 キャリア教育	企業主催プログラム (CSRとして)	企業	プログラム による	短期(1~3日間)	自らのキャリア (職業観・就業観)を考える
	<ul style="list-style-type: none"> 授業(正課) 産学協働プログラム(正課外) 学内における企業・アドバイザーによる レクチャー 	大学(+企業)	授業・プログラム による	短期~長期 (授業・プログラム によって異なる)	
タイプ3 汎用的能力・ 専門活用型 インターンシップ	適性・汎用的能力重視	企業または 大学+企業 (地域コンソーシアム との連携含む)	少人数中心	短期(5日間以上)	その仕事に就く能力が 自らに備わっているか 見極める
	専門性重視 (主に事務系)			長期(2週間以上)	
	専門性重視 (主に技術系)				
タイプ4 高度専門型 インターンシップ	ジョブ型研究 インターンシップ	大学+企業	少人数	長期(2カ月以上)	自らの専門性を 実践で活かし、 向上させる (実践研究力の向上等)
	高度な専門性を重視した 修士課程学生向け インターンシップ(仮称)			検討中	

インターンシップの種類と定義



※ 企業主催の短期インターンシップは、就活中の学生に自社を志望してもらうために実施しているものが多い。

経営者が
本当はやってみたい、試してみたいけど、
どうしても手が付けられていない

将来の会社の新たな方向性に繋がる
本気のプロジェクトを

若者と**一緒に****一定期間**、試してみる。

●導入事例 (三重県・石本果樹園) 受け入れ側の仮説の重要性



●導入事例 (沖縄県国頭郡本部町) ヨソモノの視点・組織の風土改革

美ら海水族館に来る年間350万人の観光客を本部町へ。
滞在型宿泊プラン実現に向け若者・よそ者視点を活かす。



沖縄県北部でアルマリゾート棚原社長が運営する古民家を活用した宿泊施設の一つ。年間350万人が訪れる美ら海水族館がある本部町を中心としたエリア「山原（やんばる）」。多くの手つかずの自然など多くの魅力的なスポットが素通りされている。

沖縄県中南部出身の3名の1年生が参加。地元の人たちから熱烈的な歓迎を受けながら、本部町に密着しながらプロジェクトを実施。初めてみる「大学生」だからこそ見える地域の魅力、人の魅力に地域側も初めて気づく。



事業内容	マンション、古民家を活用した宿泊施設の運営 (棚原社長は本部町観光協会副会長も兼任)
期間 勤務頻度	3週間(3名の琉球大学観光産業科学部1年生) ※コーディネート団体：株式会社ルーツ
受入側の 導入目的	・観光客を本部町を呼び込む滞在型プランと一緒に考える企画力なる仲間が欲しい ・自分たちでは気づかない本部町の魅力を外の視点で再発見して欲しい
インターン生の プロジェクト内容	●ステップ1： 宿泊施設の運営業務全般（接客・フロント・掃除等） ●ステップ2： 本部地域の魅力を発掘・体感しながら、魅力の顕在化と整理。観光客のニーズもタイプ別に整理。モデル事例やリサーチ業務 ●ステップ3： 週1の企画会議で社長や社員からフィードバック
成果など	・滞在型宿泊プランを103個提出 ・お金をなるべく使わないで過ごすヒンスープラン「花嫁花婿修行プラン」は実際に商品化。 ・社員教育：ルーティン業務に追われて仕事がマンネリ化しやすい小さい会社にとって、職場に新しい風が吹き、立ち止まって考える時間が出来、モチベーションも向上した

●導入事例 徳島県牟岐町(株式会社大竹組) ※「地域ベンチャー留学」を活用

地域に根付いて90年、歴史と技術の建設会社。 次の世代に繋ぐ地元学生への魅力発信プロジェクト



完成したリーフレットとパンフレット。
 (左) 今の学生が知りたいがっている生活面などの情報も織り込んでいる。
 (右) 社員のキャラクターを活かしたインパクトのあるポスター。

大学1、2年生女子学生2名がインターン。これまで広報資料の作成経験はなかったが、大竹組の魅力を多くの若い人知ってほしい！という熱意のもと作成。社員や地域の人たちとも、とても良好な関係を築いた。



事業内容	土木工事を主体とする総合建設業（社員30名）
期間 勤務頻度	4週間フルタイム (「地域ベンチャー留学」プログラムを活用。一橋大学1年生と明治大学2年の女子学生2名)
受入側の 導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地元学生の採用ができておらず、どう見せていけば採用に結びつくのかの調査 ・仕事の面白さややりがいや伝わるような採用ツールの作成
インターン生の プロジェクト内容	<ul style="list-style-type: none"> ●ステップ1：大竹組、高校生の動向を知る現場へも足を運び、業務を知る。社員へインタビュー。採用が多い地元高校などで学生の就活調査。 ●ステップ2：採用ツールの作成 社員へのインタビュー、学生の調査をとりまとめ、結果を踏まえた採用ツールの作成 ●ステップ3：採用ツールの完成、発信 完成したツールを社内、学校、地域へ発信。
成果など	<ul style="list-style-type: none"> ・採用ツールとして非常にクオリティの高いリーフレット、ポスター2種が完成 ・実際に高校に掲示し、企業のwebサイトにも使用。 ・スーパーやコンビニ等地域施設にも掲示し、地域にも大竹組を広く発信 ・経営陣が引き出せなかった社員の魅力や表情が前面にでているツールとなった。

社長・新規事業リーダーと、真剣勝負の現場

2名～30名前後の組織やチーム。創業メンバーと共に「起業家精神」を身に付ける

事業・組織の成長のエンジン

地域・企業にとってもメリットがある。経験より熱意とやる気で出来ることがある

4週間～1年間程度でプロジェクト型

時間を割くという「本気と覚悟」。大学との協働も重要。

挑戦したいけど出来ていないこと、どうしてもやりたいことへの着手。
挑戦する人材を **受け入れ、育み、活用できる組織へ** の体質変化。

事業の成長エンジン



- 新規事業の立ち上げに向けた仮説検証
- 顧客拡大に貢献にしたか(販路開拓)
- 新商品開発など自社製品を持つきっかけになったか
- 新規事業が立ち上がったか
- 売上に貢献したか
- 担当者として事業加速を担ったか
- 既存顧客との関係性に変化はあったか
- 新たな関係者(ステイクホルダー)との関係性の変化はあったか(マスコミ、自治体、経済団体、地域、その他)
- コスト削減

組織改革の漢方薬



- 業務プロセスが改善されたか
 - 丸投げ禁止。話さなくても出来るは「×」
- 経営者の姿勢が変化したか
- 社内風土が変化したか
 - 社員がその会社で「働く意味」を考える
- コミュニケーション態勢が変化したか
 - 社長と社員・社員同士の関係性の変化
- 社員の育成に繋がったか
- 新しい **人材を育む制度、風土が出来たか**
 - 人材育成、評価の仕組みが明確化したか
 - 社員の成長プログラムに活用できるか
- これまでに会ったことがない人材と出会えたか？
 - 期間限定だからこそ出会える新たな人材層

● 期待をしていない

- 単純労働力or学生用にわざわざ。インターン導入の目的が曖昧だからお客様扱い
- 本気の現場でない。顧客との接点がない。
→学生も本気！企業(社長)も本気！で取り組む「プロジェクト」を設計する

● 仮説がない

- 学生らしく「若い柔軟な発想で」好きにやって欲しい＝経営者がコミットしない
- アイデアに期待しすぎ。アイデア欲しいなら半日ワークショップで良い。
 - 会社の事業戦略上、これに挑戦しようとするのは社長。
 - 学生にやってもらうのではなく一緒に取り組む

● 学生、企業のどちらかが受け身

- 参加するまでハードルがない。「決断」していない。自己責任で参加できるか。
- 社内で導入の目的、内容が共有していない
- 社長(担当者)だけが導入したいと考えている。



地域との挑戦は、
わたしを強くする。

The challenge for the local makes me stronger.

学生が春休み・夏休み限定で、地域に 4-6週間住み込み、
企業経営者の右腕として一緒に新規プロジェクトに挑戦。

2011年のスタート以来・・・

これだけの学生が
挑戦しました

1800人

総参加者数

これだけの企業が
導入しました

700社

受入企業数

多くのメディアに
掲載されました

300回

総出演回数

※地元新聞、テレビ、ラジオ、Yahoo!ニュースなど

実施地域数: のべ180市町村(44都道府県)

北海道、青森県、秋田県(秋田市・羽後町)、岩手県(紫波町・花巻市・盛岡市・矢巾町・釜石市・宮古市・大船渡市・陸前高田市・住田町)、宮城県(石巻市・女川町・南三陸町・名取市・仙台市)、山形県(鶴岡市・酒田市)、福島県(南相馬市・福島県飯坂町・いわき市・福島市・相双地域・平田村・葛尾村・郡山市)、千葉県(銚子市)、茨城県(稲敷市・河内町・利根町・かすみがうら市・行方市・潮来市・桜川市・城里町・大子町・常陸太田市・常陸大宮市)、群馬県、埼玉県(ときがわ町)、新潟県(長岡市)、神奈川県、長野県(塩尻市)、東京都、栃木県、静岡県(御殿場市)、岐阜県、愛知県、三重県、**石川県(七尾市・志賀町・輪島市・珠洲市)**、**富山県(富山市・黒部市)**、**福井県(福井市・坂井市・勝山市)**、滋賀県、奈良県、和歌山県、大阪府、兵庫県(神戸市・宍粟市)、京都府、愛媛県(松山市・宇和島市)、岡山県(岡山市・和気町・笠岡市・倉敷市)、山口県、広島県、香川県、高知県、徳島県(那賀町・牟岐町・海陽町・美波町・阿南市・上勝町)、福岡県、鳥取県、宮崎県、佐賀県、鹿児島県(鹿児島市・奄美大島龍郷町)、大分県竹田市、熊本県(五木村・南小国町・上天草市)、沖縄県(名護市)。

期間

2024年2月上旬～3月中旬
内1ヵ月～1ヵ月半程度

参加方法

- ①現地住み込み
- ②完全オンライン
- ③ハイブリッド（オンライン＋一部現地滞在）

地域

全国10地域
37プロジェクト

参加費

無料



経営者が解決したい、リアルな課題に挑む

他のインターンシップでは得られない充実感と達成感を味わうことができ、プログラム終了時には、今まで出会えなかった自分と出会うことができます。



戦力として迎えられ、行動力が必要とされる

経営者たちは、思いに共感し、課題に共に挑んでくれる仲間を心待ちにしています。あなたの行動力とやる気こそが、経営者たちが求める能力です。



あなたにあった、挑戦のかたちを選べる

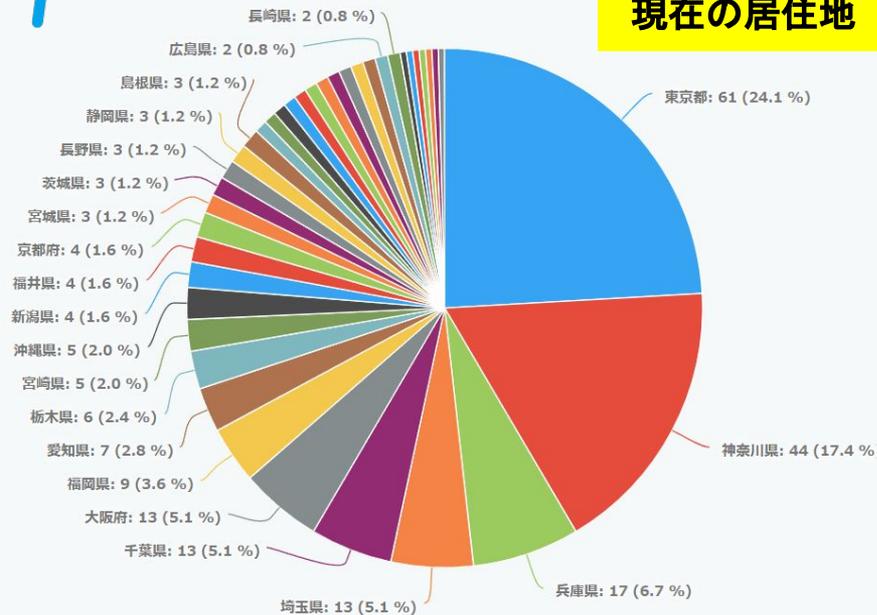
プロジェクトによって、参画方法を選ぶことができます。関わり方の幅が広がるからこそ、より地域の課題を身近に感じることができます。



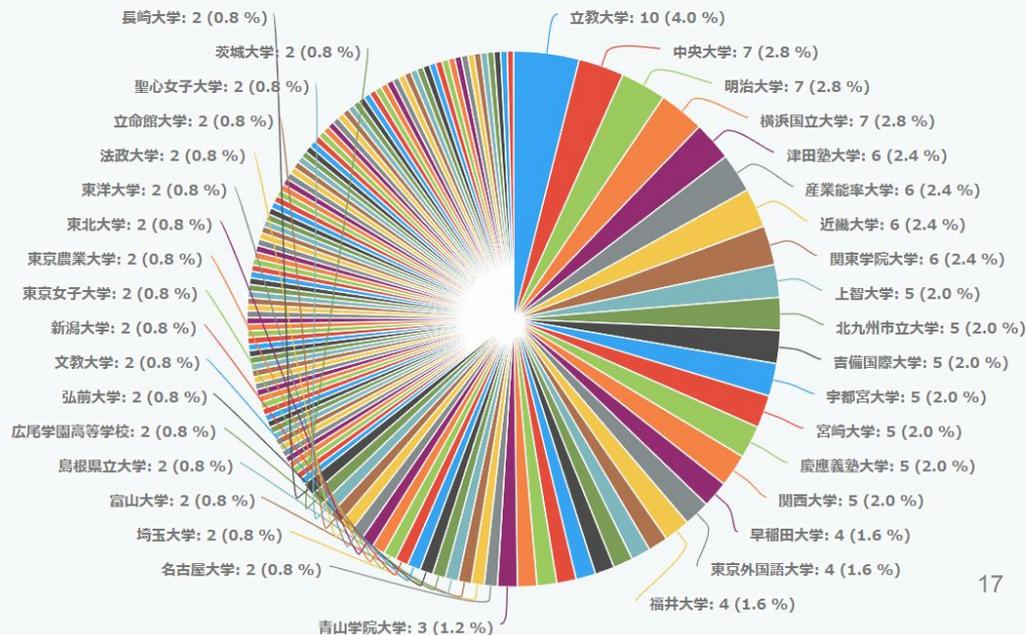
申込状況(2025春28期) 定員70名申込総数260名

©2025 ETIC. All rights reserved.

現在の居住地



所属大学等

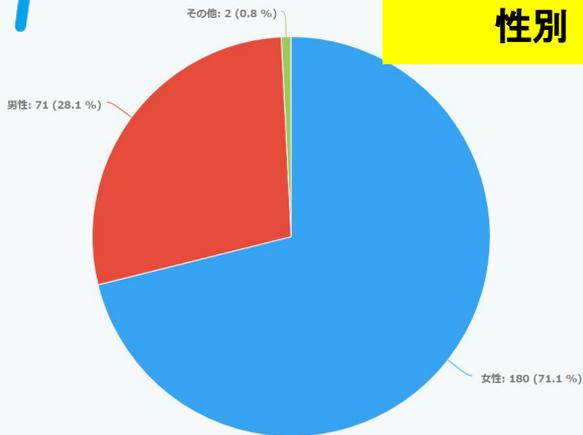




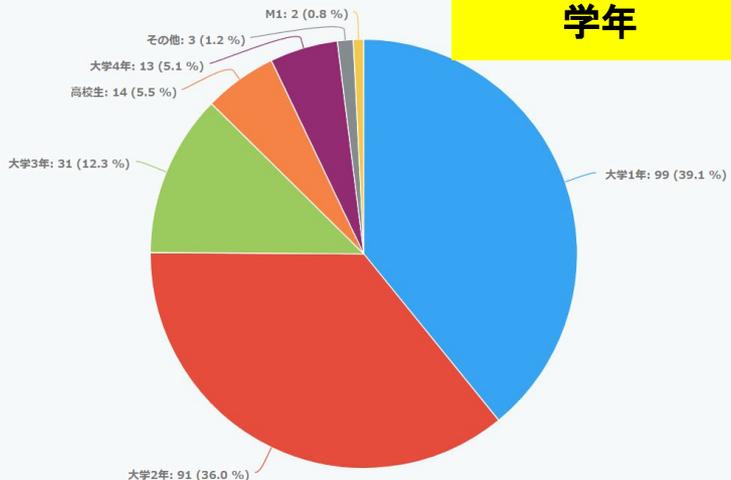
申込状況 (2025春28期) 定員70名申込総数 260名

©2025 ETIC. All rights reserved.

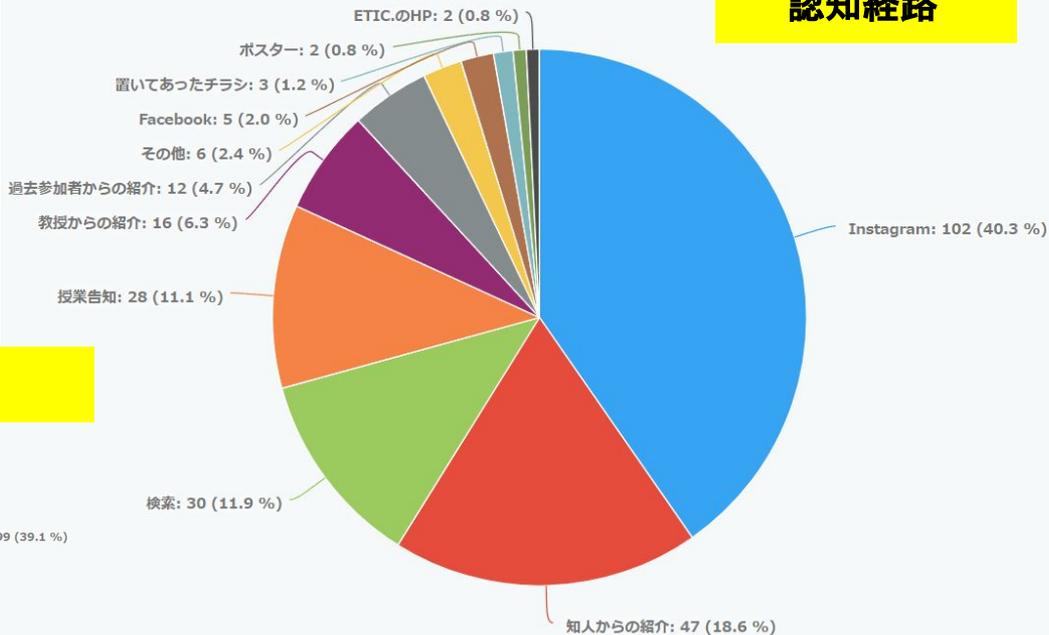
性別



学年



認知経路



● 地域のコミュニティや独自の魅力に触れる機会

地方・教育・コミュニティを通じて、夢を語り合い、叶え合うことで未来を変えたいと思うようになりその1歩としてこちらに応募した(大阪府立大学Aさん)
日本国内の地方の魅力を探り知見を深める経験をしてみたい(東京大学Bさん)

● 求められる役割や大きく、やりがい大きい環境での挑戦(長期間で実践的・期待が高い)

都内の企業インターンとは違い、インターン生が企業側に与える影響が大きいことに興味を持った(立教大学Dさん)

● 経営者の右腕として、ゼロイチの経験を積める環境。将来を起業を考える第一歩

ゼロからイチ、実際の経営者の右腕になって実践型のプログラムとなっていることに興味を持ちました(海外大学Fさん)

● オンラインという新しい働き方へ挑戦できる機会

コロナウイルスが終わった後も、オンラインを通しての仕事のあり方は増えていくのではないかと考えています。オンライン上でどのように企業の方々とコミュニケーションをとっていくのかを学ぶことのできる良い経験になる(津田塾大学Cさん)

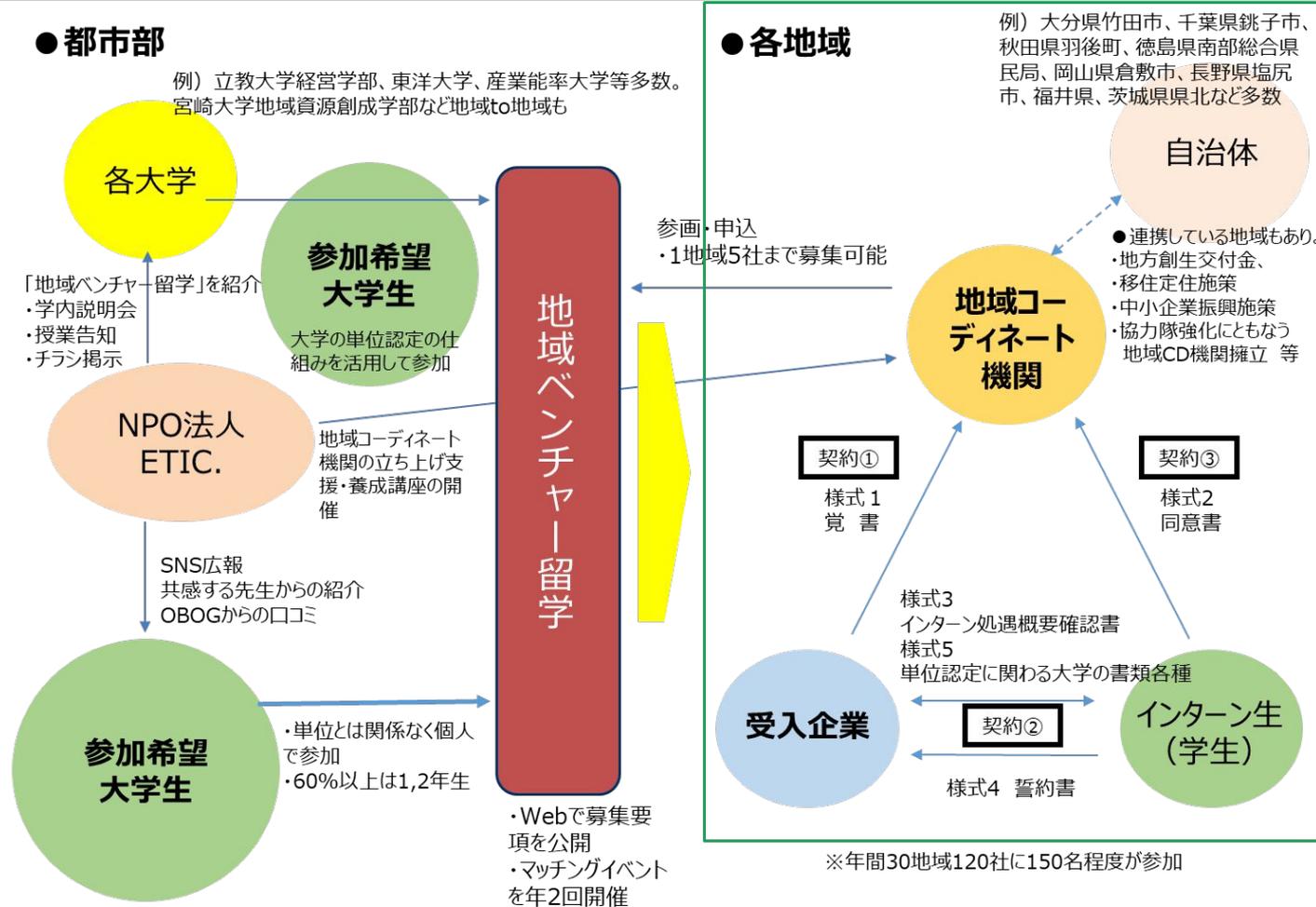
● ビジョンに共感できる企業や、興味を持てるプロジェクトとの出会い

映像づくり、SDGs、商品開発、まちづくり、マーケティング環境問題、教育、広報、ライター、スポーツ…等

● まずは何か始めたい！その背中を押してくれる環境

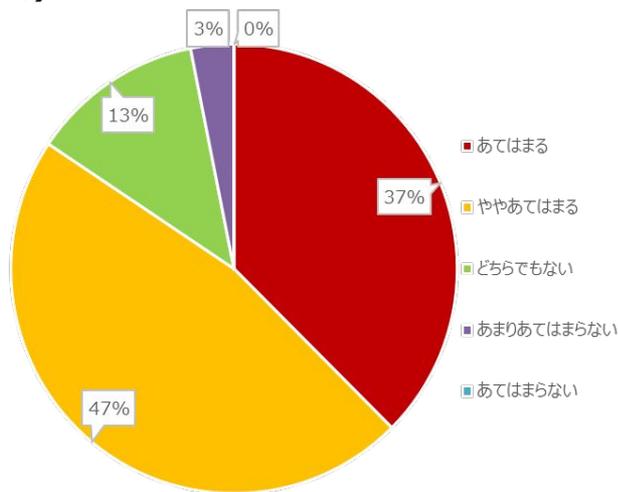
将来についての考えがまだ見つかりません。実際にやってみることができる地域ベンチャー留学で自分の経験を増やしたい(宮城学院女子大学Eさん)

地域ベンチャー留学の関係図

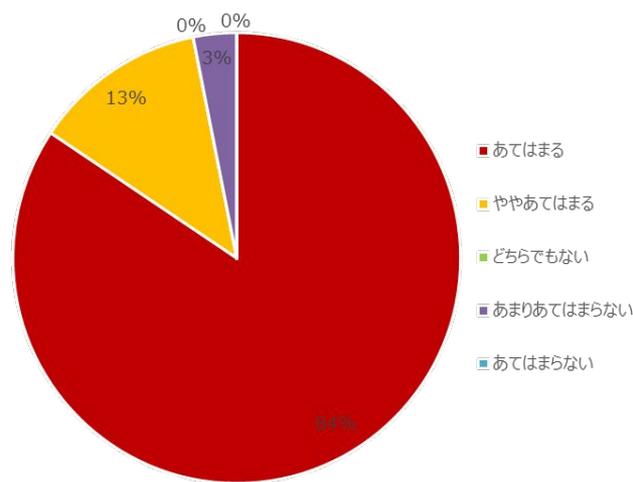


84%の参加者が、『実際に働く』ことにより中小企業での働き方、地域での動き方が明確に。かつその魅力も発見する。

Q.「中小企業で働く」ことのイメージが向上した。
(84%)



Q.「地域」や自分のインターンシップ先の地域
に対するイメージが向上した。(84%)



<具体コメント>

- イメージ的に町工場や小さな建物で一つのことをやっているというものだったので、あたりまえだが中小企業にも種類があり、つながりが目に見えるという点で大手より私が共感できるところが多いと思ったため。
- 中小企業で働いた意識はあまりなかったが、地域の人々の顔が見える働き方がしたいと思ったから。
- 以前から将来的には地元で働きたいと思っているのでより地元で働きたいと思うようになった。
- 中小企業という言葉にマイナスのイメージがあったが、そんなことはないと思った。
- 大企業で働いた経験がないので比較はできないが、中小企業とくらわれる企業で働くことの面白さは感じた。経営判断を行うトップと距離が近いところが魅力。

● インターンは採用・選考プロセス(とにかく採用したい)

- どんな人材が採用したいかを明確化。それは具体的にどんな学生か。
 - その学生たちのニーズを何かを直接触れ合って知る
- ターゲットになる学生に合ったインターンのプログラム設計
 - 「母集団形成」と「選考プロセス」は別。
- ターゲットにする学生に対して発信。就活生がいるコミュニティ、サイトも活用。
 - 予算ある: 大手の求人サイトも活用。大企業と戦うための雇用条件、福利厚生も検討。
 - 予算ない: SNS広告を少額からスタート。学生たちと直接知り合う&口コミ

● インターンから採用しなくて良い

- 社内でインターン実施の目的を明確化
 - そのうえで目的にあったプログラム(期間、内容、対象者等)を設計
 - 例1) 会社・業界の認知度向上。知って欲しい!
 - とにかく参加のしやすさが大事。低学年向けも。
 - 例2) 組織内で新卒採用に向けた準備したい・人材育成の仕組みを整えたい・・・等
 - 学生に「会社の中」に入ってきてもらう。実践型。社員を教育係に。
 - 自分たちの会社の魅力や特徴を学生に可視化してもらう内容等も。
 - 例3) 新規事業を立ち上げたい、若い人と一緒に仕掛けたいことがある・・・等
 - 本当はやりたいけど、手が付けられていないコトを明確化。
 - 社長と二人三脚で取り組む。長期実践型(3-6か月)

インターン生が、インターン先(少数精鋭組織)に 新卒入社したいと思う 5か条

＝大企業内定・親、大学の意向、周囲の反応を覆してでも、
ベンチャー企業や地域の少数精鋭組織で挑戦しようと思う理由

- ①ビジョンの共有(目指しているもの)
- ②自分の役割認識(が、はっきり出来ている)
- ③誰と働くか見えている(尊敬できる人。社員含む)
- ④ここでやっていけるという自信
＝インターン期間中に、権限移譲されてやり遂げた経験。
- ⑤会社が伸びている、伸びそう。(将来性、社会性)

参考文献 「長期実践型インターンシップ入門」

インターンシップの特徴、現在社会人のインターン経験者、約 100名の追跡調査から得られた証言やアンケート結果、学びを最大化するための必要なエッセンスを紹介



「長期実践型 インターンシップ入門」(今永典秀編著)

ミネルバ書房(2200円(税込)) ISBN:9784623097142

<https://www.minervashobo.co.jp/book/b641516.html>

はじめに

第一章 インターンシップとは何か

第二章 参加してみたい長期実践型インターンシップの特徴

第三章 あなたを変える長期実践型インターンシップの経験談集

第四章 良いインターンシップ・悪いインターンシップ

第五章 有益なインターンシップにするための秘策

おわりに 応援メッセージ 参考文献 資料編 索引

豊富なコラム集

Column 1 「三省合意による定め」大学・学生、企業にとってのインターンシップの意義

Column 2 インターンシップの起源 / Column 3 海外のインターンシップ / Column 4 企業から

みたアルバイトとインターンシップの違い / Column 5 有償型インターンシップ / Column 6

「チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト」とは? / Column 7 「地域の人事部」構想 / Column 8

地域へのインターンシップ「能登留学」 / Column 9 「東海ヒトシゴト図鑑」 / Column 10 北海道

・天売島のインターンシップ / Column 11 北海道でユニークな創業支援プログラム / Column 12

一か月間、社長の右腕として挑戦する「地域ベンチャー留学」 / Column 13 「シゴトリップ」の上

手な活用法 / Column 14 シアトルマリナーズでのインターンシップが人生の起点に / Column 15

学生のマナーや態度 / Column 16 学生の相性 / Column 17 つながるキャンパス / Column 18

越境学習 / Column 19 インターンシップを失敗に終わらせないために / Column 20 インター

シップワークショップ / Column 21 面白いプロジェクトが見つかる! 「プロジェクトインデックス」

1. 都市部人材

- 震災・コロナ → 地域への関心の高まり
- 打席に立つ経験・起業準備・経験活用・地域と関わりづくり・案件探し
- 「地方創生」に携わる仕事に就きたい(大学生)

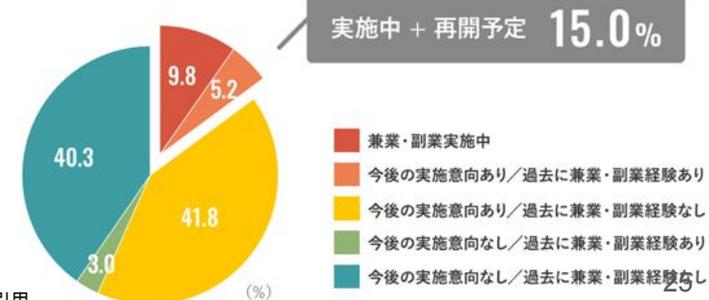
2. 都市部企業

- 人材研修の場～「越境」による「修羅場」経験
- 新しい働き方(ワーケーション、リモートワーク、副業兼業)
- 事業開発の場: 地域をフィールドにした実証実験

Graph 兼業・副業の実施状況 (2020年12月時点) (単一回答 n=7,937)

3. 地域企業

- 新しいことへの挑戦
- 「外部人材」活用
- 副業兼業、プロボノ、インターン・・・等
- オンラインでプロジェクト推進



人が集まる地域や組織は「関わり方」を作るのが上手。
キーワード:「関わりしろ」「プロジェクト型」「多様な働き方」

正社員

アルバイト・派遣社員

パートタイム・業務委託スタッフ

主婦・シニア・障がい者など

副業・兼業(右腕副業)

実践型インターン

スポットワーク

地域おこし協力隊

地域プロジェクトマネージャー

越境研修・プロボノ

地域活性化企業人 (企業派遣型・副業型)

企業版ふるさと納税 (人材派遣型)



働く時間

(フルタイム・パートタイム)

×

働く場所

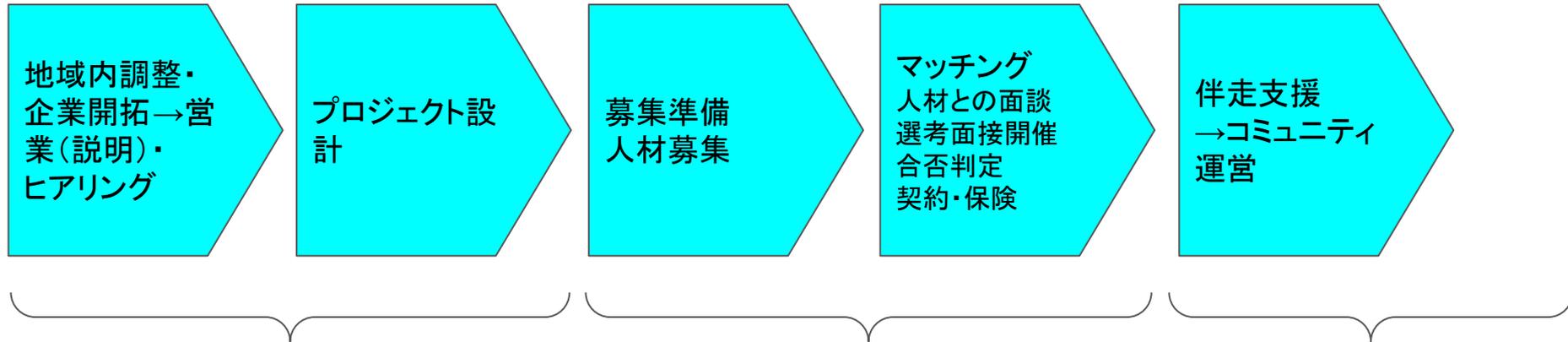
(リモート・対面)

×

働く条件

(給料・働き方への支援等)

地域のナカとソトを結びつける。地域おこし協力隊・副業兼業・大学生インターン・越境研修・ワーホリ・・・等。全て同じ。



【プロジェクト設計】

1. 地域や経営者が本気で取り組みたいこと
2. 人材の共感ポイント
3. 現地・現場・顧客との接点づくり

【マッチング(募集・選考)】

1. 募集する人材はどこにいるか
2. マッチング精度を高める個別面談と選考面接
3. ミスマッチ防止

【伴走支援】

1. コミュニケーションと情報共有
2. 成果の創出に向けて
3. 継続に向けて

高い目的意識でマッチングを実現する「地域コーディネート機関」

©2024 ETIC. All rights reserved.

